

健康推進部
長寿いきがい課

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2051001	在宅高齢者支援事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
6,781,000	5,929,389	0	851,611	87.4%	

- 要援護高齢者等を対象として、介護保険サービスにない各種在宅福祉サービスを提供することにより、日常生活の自立の支援や安全の確保、生活の質の向上を図ることができました。
- ・ 寝具消毒乾燥車派遣事業 新規：8人、廃止：18人（令和3年3月末現在：51人）
ひとり暮らし等で日常生活を営むのに支障のある方に寝具消毒乾燥車を月1回派遣しました。
 - ・ 緊急通報システム事業 新規：11人、廃止：18人（令和3年3月末現在：71人）
ひとり暮らしの高齢者等が、緊急時に連絡を取ることができる「緊急通報システム」を利用し、日常生活の安全等が確保されました。
 - ・ 日常生活用具給付事業 令和2年度は、住宅用火災警報器取付の実施はありませんでした。
 - ・ ねたきり老人介護手当支給事業
新規：7人、廃止：14人（支給者数：27人）
常時ねたきり、又はこれに準ずる状態が6か月以上継続している方を家庭で介護している方に、月額5,000円の手当を支給しました。
 - ・ 家具転倒防止器具取付事業 取付件数1件
 - ・ 介護マーク配布事業 配布件数4件

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
寝具消毒乾燥車派遣延べ件数	348件	440件	486件	536件	489件	478件
緊急通報システム利用延べ件数	972件	974件	1,014件	1,004件	952件	930件
日常生活用具給付件数（台数）	0件	0件	0件	0件	1件	0件
ねたきり老人介護手当支給延べ件数	467件	429件	389件	354件	302件	314件

事務事業名	2051002	老人ホーム入所措置事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
9,590,000	6,522,170	0	3,067,830	68.0%	

- 養護老人ホーム
65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置しています。
前年度から継続して、2人の措置を実施していましたが、新たに1人の入所措置を行いました。
- 特別養護老人ホーム
65歳以上で、身体上又は精神上著しい障がいがあるために常時の介護を必要とし、かつ、居宅においてこれを受けることが困難であり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する地域密着型介護老人福祉施設又は介護老人保健施設に入所することが著しく困難な高齢者について、前年度から継続して、1人の措置を実施しました。

【成果数値】 ※ 年度末の数値です。

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
養護老人ホーム措置人数	3人	2人	2人	2人	2人	3人
特別養護老人ホーム措置人数	1人	1人	0人	0人	1人	1人

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2051004	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
4,420,000	3,290,000	0	1,130,000	74.4%	

- 介護保険法第117条及び老人福祉法第20条の8の規定に基づき、3年ごとに計画を策定しています。令和2年度は、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定を行いました。
- 計画策定のため、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会を3回開催しました。
 - ・ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員報償金 210,000円
 - ・ 第8期日高市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託 3,080,000円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
策定委員会開催回数	—	—	4回	—	1回	3回
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査数	—	2,997件	—	—	2,999件	—
在宅介護実態調査数	—	890件	—	—	869件	—

事務事業名	2051005	社会福祉施設等応援交付金支給事業（長寿いきがい課）			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
8,212,000	8,211,424	0	576	99.9%	

- 日高市社会福祉施設等応援交付金支給事業実施要綱に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大により、感染リスクがある中、地域の福祉、介護又は医療の供給体制を維持し、市民生活に貢献した社会福祉施設等に対し、社会福祉施設等応援交付金を支給しました。
 - ・ 交付金支給額 8,200,000円
 - ・ 支給事業所数 56 事業所

<内訳>

 - 交付金額60万円の事業所 4 事業所
介護医療院、指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設
 - 交付金額20万円の事業所 6 事業所
特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護
 - 交付金額10万円の事業所 46 事業所
訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、特定福祉用具販売・福祉用具貸与、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、居宅介護支援事業、予防支援事業

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2052001	老人クラブ支援事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
1,511,000	1,099,703	0	411,297	72.8%	

- 老人クラブ連合会や地域の単位老人クラブに対し、活動費の補助を行うことにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを図ることができました。
- ・ 老人クラブ連合会：296,671円 会員433人（令和2年4月1日現在）
活動促進事業、地域支え合い事業、若手高齢者組織化・活動支援事業、健康づくり事業及び介護予防事業に要する経費に対して補助金を交付しました。
補助基準額 基本額：500,000円、加算額：会員1人につき100円
 - ・ 単位老人クラブ（27クラブ）：803,032円 会員1,509人（令和2年4月1日現在）
友愛訪問活動、清掃活動、地域見守活動、教養講座の開催、スポーツ活動等に要する経費に対して補助金を交付しました。
補助基準額 基本額：25,000円（会員数100人以上・4クラブ）、20,000円（会員数100人未満・24クラブ）、加算額：会員1人につき200円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
単位老人クラブ数	31クラブ	30クラブ	31クラブ	29クラブ	29クラブ	27クラブ
単位老人クラブ加入人数	2,012人	1,964人	1,976人	1,839人	1,771人	1,509人

事務事業名	2052002	シルバー人材センター支援事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
11,710,000	11,710,000	0	0	100.0%	

- 自らの生きがいの充実及び社会参加を希望する高齢者の就業機会の確保、高齢者の長年培われた知識や経験、技術などの労働能力を生かした高齢者事業を推進するシルバー人材センターを支援するため、市シルバー人材センターの運営費等に係る補助金及び全国シルバー人材センター協会への負担金を交付しました。
- ・ 市シルバー人材センター補助金 11,660,000円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
シルバー人材センター会員数	413人	411人	384人	372人	367人	361人
就業率	92.0%	93.2%	96.6%	99.2%	97.3%	95.6%
会員平均年齢	71.8歳	72.3歳	72.9歳	73.5歳	74.0歳	74.7歳
就業延べ人数	35,968人	35,636人	35,061人	35,743人	32,065人	28,084人

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款	項	目		
	3 民生費	1 社会福祉費	3 老人福祉費		
事務事業名	2052004	敬老事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
1,482,000	1,132,752	0	349,248	76.4%	

- 例年実施していたひ・まわり探検隊事業の一環で、総合福祉センター「高麗の郷」において実施する高齢者と子どもの世代間交流は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。
- 令和2年9月1日に市内に住所を有する方で、令和2年度に88歳及び100歳に達する方に、敬老記念品（88歳228人、100歳8人）を贈呈し、敬老の意を表するとともに長寿を祝福しました。また、令和2年度中に100歳を迎えられた方のうち入院、入所をされていない方は、表敬訪問し、入院、入所中の方については、ご家族等に窓口で贈呈しました。なお、88歳への敬老記念品については、昨年度に引き続き、市特産品等を掲載したカタログの中から本人が気に入った商品を選択する方法で実施しました。
- 老人週間（9月15日～21日）に例年実施していた高齢者（65歳以上）に対する総合福祉センター浴室の入浴無料サービスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。
- 自ら健康に気を配り、元気に生活している高齢者（満80歳、満85歳、満90歳、満95歳）を褒賞する「健康シニア褒賞」では、37人に褒賞状と記念品を贈呈し、高齢者の健康意識の一層の向上を図りました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
世代間交流実施回数	1回	1回	1回	1回	1回	中止
世代間交流参加者数	47人	45人	44人	49人	59人	中止
敬老記念品（祝金）対象者数	790人	712人	890人	342人	222人	236人
無料入浴サービス利用者数	918人	994人	923人	1,016人	996人	中止

事務事業名	2053001	介護保険特別会計繰出事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
671,371,000	671,013,940	0	357,060	99.9%	

- 介護給付事業について、市の法定負担分12.5%を介護保険特別会計に繰り出しました。
- 地域支援事業のうち、介護予防・日常生活支援総合事業費分について市の法定負担分12.5%、包括的支援事業・任意事業費分について市の法定負担分19.25%を介護保険特別会計に繰り出しました。
- 事務費の全額を介護保険特別会計に繰り出しました。
- 低所得者の保険料軽減に必要な金額を国、県の負担金とともに介護保険特別会計に繰り出しました。

・ 令和2年度繰出額	671,013,940円
（介護給付事業分）	534,220,470円
（地域支援事業分）	36,300,000円
（その他事務費分）	56,266,000円
（保険料軽減分）	44,227,470円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要介護2～5の認定者に占める施設・居住系サービスの利用者の割合	43.0%	39.7%	39.8%	41.2%	40.0%	39.5%
第1号被保険者数	16,498人	17,099人	17,463人	17,761人	18,052人	18,275人

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2053002	公的介護施設等整備補助事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
41,151,000	38,634,000	0	2,517,000	93.9%	

- 市民が住み慣れた地域において安心して暮らしていくため、地域の実情に応じた介護サービスが提供できるよう、事業実施者に対して埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金を活用し、小規模多機能型居宅介護事業所の整備に係る費用の一部を補助しました。
- ・ 地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金 38,634,000円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要介護2～5の認定者に占める施設・居住系サービスの利用者の割合	43.0%	39.7%	39.8%	41.2%	40.0%	39.5%
通所系施設整備数	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所
既存施設の充実数	0か所	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所
施設開所支援数	0か所	0か所	1か所	0か所	0か所	1か所

事務事業名	2053003	低所得者の利用者負担軽減事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
3,000	0	0	3,000	0.0%	

- 生計が困難な低所得者が、社会福祉法人の運営する施設等で提供する介護サービスを利用する場合に、社会的役割を担う社会福祉法人がサービスに係る費用の一部を自ら負担することにより、低所得の利用者の負担が軽減されます。
- 市は、軽減を受けようとする者の申請を確認し、社会福祉法人等利用者負担軽減確認証を交付します。
- 社会福祉法人が、生計が困難な低所得者の利用者負担軽減を行った場合、その軽減額の合計が社会福祉法人の受領すべき利用者負担分の収入の1%を超えた場合には、超えた額の2分の1の金額に対して助成し、10%を超えた部分についてはその全額を助成します。
- 令和2年度は、軽減者はいましたが基準に達していなかったため、助成金の交付対象となる申請がありませんでした。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会福祉法人等利用者負担軽減者数	3人	2人	2人	2人	1人	1人
社会福祉法人等利用者負担軽減に対する助成件数	0件	0件	0件	1件	0件	0件

長寿いきがい課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2054015	高齢者運動支援事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
243,000	2,904	0	240,096	1.2%	

- 令和元年度と同様、市内に在住する65歳以上の高齢者を対象に日高市文化体育館「ひだかアリーナ」のトレーニングルーム（通常3時間400円）を無料で提供し、設置された各種トレーニング機器を活用した運動機会の提供を通じて、高齢者の「運動習慣化の促進」及び「介護予防の推進」を図る計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
高齢者運動支援事業利用者	—	—	—	—	238人	—

事務事業名	2055015	高齢者保健・介護予防一体推進事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
580,000	469,590	0	110,410	81.0%	

- 健康診査の結果、フレイルのおそれがあると判断された高齢者を対象として、骨、筋肉、口腔ケア及び栄養等に関する生活改善等を図るための「フレイル対策教室」を開催しました。
教室を開催するに当たり、参加者の人数制限や検温、消毒の徹底、マスク着用の励行等、感染防止対策を行いました。
- フレイル対策に関するパンフレットを作成し、全戸配布することにより広く周知しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
フレイル対策教室参加者（延べ）	—	—	—	—	—	18人

健康推進部 保険年金課

保険年金課		一般会計				決算書頁	
		款	項	目			
	2	総務費	1	総務管理費	11	諸費	P64
事務事業名	6241051	民生費国・県支出金等返還事務（保険年金課）					
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率		
98,000	97,187	0	813	99.2%			
<p>○ 令和元年度中に交付された国、県支出金等を実績に基づいて精算し、超過交付分を返還しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後期高齢者に係る健康診査業務委託料返還金 48 円 ・ 年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金返還金 97,139 円 <p style="text-align: right;">合計 97,187 円</p>							

保険年金課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		3	民生費	1	社会福祉費	2	障害者福祉費
事務事業名	2063001	重度心身障がい者医療費助成事業					
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率		
133,192,000	109,736,964	0	23,455,036	82.4%			

○ 重度心身障がい者の医療費の一部を負担することにより、重度心身障がい者の疾病の早期回復や本人とその家族の経済的負担の軽減を図りました。

※ 重度心身障がい者

- ① 身体障がい者手帳1級、2級又は3級所持者
- ② 療育手帳(A)、A又はB所持者
- ③ 精神障がい者保健福祉手帳1級所持者(平成27年1月1日から)
- ④ 65歳以上で、埼玉県後期高齢者医療広域連合又は市長の認定を受けている者

○ 重度心身障がい者医療費支給状況

・ 受給者数、支給件数及び支給額(加入保険別)

加入保険	※受給(登録)者数	支給件数	支給額
国民健康保険・社会保険	698人	13,658件	69,886,895円
後期高齢者医療	389人	11,385件	30,231,608円
合計	1,087人	25,043件	100,118,503円

※ 令和3年3月31日現在受給(登録)者数

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
重度心身障がい者医療費受給者数(3月31日現在)	1,263人	1,210人	1,158人	1,148人	1,114人	1,087人
重度心身障がい者医療費支給件数	30,568件	29,378件	28,426件	28,458件	28,257件	25,043件
重度心身障がい者医療費支給額	126,664,879円	119,610,493円	116,185,580円	119,315,302円	112,944,267円	100,118,503円
重度心身障がい者医療費1人当たり支給額	100,289円	98,852円	100,332円	103,933円	101,386円	92,105円
重度心身障がい者医療費1件当たり支給額	4,144円	4,071円	4,087円	4,193円	3,997円	3,998円

保険年金課		一般会計				決算書頁 P82	
		款		項			目
		3	民生費	1	社会福祉費		3
事務事業名	2055001	後期高齢者健康診査事業					
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率		
30,619,000	21,146,484	0	9,472,516	69.1%			

- 健康診査実施の根拠
 - ・ 埼玉県後期高齢者医療広域連合からの健康診査実施業務の受託により健康診査を実施しました。
- 健康診査の実施状況
 - ・ 実施方法 飯能地区医師会等への委託による実施
 個別健診（指定医療機関における健診） 受診券発行日から令和3年3月31日までの間に実施
 集団健診（市保健相談センター等を会場とする健診）10月3日、11月24日、12月8日、1月17日、2月26日に実施
 - ・ 健診内容 基本的な健診項目（身体計測、血圧、血中脂質検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査、腎機能検査）及び詳細な健診項目（貧血検査、心電図検査、眼底検査）
- 飯能地区医師会等との委託状況

健診内容		受診者数(人)	委託単価(円)	委託料(円)
基本的健診	個別健診	1,838	9,350	17,185,300
	集団健診	77	7,171	552,167
詳細健診	貧血検査	557	253	140,921
	心電図検査	395	1,650	651,750
	眼底検査	85	791	67,235

※ 受診者数は、令和2年度の委託料支払に係る人数（重複受診者数を含む。）です。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康診査受診者数	1,741人	1,782人	2,046人	2,025人	2,065人	1,915人
健康診査受診率	30.80%	31.39%	33.83%	29.25%	27.87%	24.53%

※ 受診率の算定には人間ドック受検者数を含んでいます。

事務事業名	2055002	後期高齢者人間ドック助成事業				
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率	
4,380,000	2,398,700	0	1,981,300	54.8%		

- 人間ドック助成事業を実施しました。
 - ・ 実施方法 指定医療機関において人間ドックを受検する場合に、申請により補助金を交付する方法（受検者が補助金相当額を控除した額を指定医療機関に支払う方法）
 - ・ 補助金額 検査料の2分の1に相当する額（2万円限度）
 - ・ 指定医療機関 市と契約した6医療機関
 （旭ヶ丘病院、岡村記念クリニック、武蔵台病院、埼玉医科大学病院、飯能市東吾野医療介護センター、所沢市市民医療センター）
 - ・ 事業の周知方法 案内パンフレットの配布及び広報ひだかへの案内情報の掲載等

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人間ドック助成件数	82件	94件	129件	145件	154件	124件

保険年金課	一般会計				決算書頁 P82
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2055003	後期高齢者保養所等利用者支援事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
10,000	6,000	0	4,000	60.0%	

- 保養所等利用者支援事業を実施しました。
- ・ 実施方法 市が指定する保養所並びに海の家及び山の家を利用する場合に、申請により補助金を交付する方法（利用者が補助金相当額を控除した額を保養所等に支払う方法）
 - ・ 補助金額 1人1泊2,000円（一部の施設は市規則に定める額）※1人につき年度内2泊まで
 - ・ 指定保養所等
 - 保養所 市と契約した3施設
 - ・ ホテルニュー伊香保（伊香保温泉）
 - ・ ホテル石風（石和温泉）
 - ・ リバーサイド上田館（戸倉上山田温泉）
 - 山の家 長野県飯綱町観光協会に加盟する施設及びオーガニックリゾート株式会社が管理する施設
 - 海の家 新潟県長岡市寺泊観光協会に加盟する施設
 - ・ 事業の周知方法 案内パンフレットの配布及び広報ひだかへの案内情報の掲載等
- 埼玉県国民健康保険団体連合会保養施設宿泊利用共同事業の利用申込受理、利用券の発行を実施しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保養所等利用件数（宿泊数）	12泊	8泊	2泊	3泊	6泊	3泊

※ 埼玉県国民健康保険団体連合会保養施設の利用を含む。

事務事業名	2055004	後期高齢者医療広域連合療養給付費負担事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
488,727,000	488,726,265	0	735	99.9%	

- 後期高齢者医療広域連合負担金
- ・ 埼玉県後期高齢者医療広域連合における療養給付費及び療養費のうち、市負担分を当該広域連合へ納付しました。
 - ・ 納付方法 年間を12期に分けて納付
 - ・ 納付金額 488,726,265円

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
後期高齢者医療広域連合負担金額	383,223,806円	405,501,693円	433,795,829円	468,476,420円	495,755,714円	488,726,265円

保険年金課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		3	民生費	1	社会福祉費	3	老人福祉費
事務事業名	2055005	後期高齢者医療特別会計繰出事務					
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率		
148,031,000	141,874,851	0	6,156,149	95.8%			

- 後期高齢者医療特別会計繰出金
- ・ 事務費相当分 27,995,000円
 - ・ 保険基盤安定制度に係る負担金分
 - 県負担分 85,409,888円
 - 市負担分 28,469,963円
- ※ 保険基盤安定制度 低所得者等の保険料（均等割額）軽減分を公費で負担する制度
負担割合 市1／4、県3／4

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
繰出額	112,411,661円	113,969,822円	134,753,992円	136,560,740円	133,741,819円	141,874,851円

保険年金課	一般会計				決算書頁 P86
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2035001	国民年金事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
196,000	185,482	0	10,518	94.6%	

- 国民年金第1号被保険者に係る住所要件、年齢要件又は生計維持要件などの確認や調査事務を実施しました。
- ・ 主な事務
年金制度に係る相談、各種申請・届出書の受理等、日本年金機構への情報提供、年金制度の周知等
 - ・ 主な受付・処理事務

資格取得届出・申出	1,352件	種別変更届出	174件
資格喪失届出・申出	90件	住所変更届出	963件
氏名変更届出	88件	付加保険料納付・辞退申出	48件
法定免除該当・消滅届出	58件	免除・納付猶予申請	1,413件
学生納付特例申請	188件	広報ひだかに年金ミニ知識掲載	12件 (毎月1回)
磁気媒体による所得情報提供	885件		
- 年金生活者支援給付金に係る情報提供を実施しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
各種届出・申出件数	3,644件	3,073件	2,919件	3,069件	2,809件	2,773件
保険料免除・猶予申請・届出件数	2,135件	2,407件	2,528件	2,438件	1,959件	1,413件
保険料学生納付特例申請件数	472件	532件	506件	596件	459件	188件
日本年金機構への情報提供件数	3,789件	3,589件	4,170件	4,314件	3,174件	885件
広報ひだかへの掲載件数	12件	12件	12件	12件	12件	12件

保険年金課	一般会計				決算書頁 P86
	款		項		
	3	民生費	1	社会福祉費	
事務事業名	2034001	国民健康保険推進事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
9,908,000	9,434,433	0	473,567	95.2%	

- 国民健康保険運営協議会
 - ・ 委員報酬 会長 8,500円 委員 8,000円
 - ・ 国民健康保険運営協議会 3回開催
- 窓口業務等委託料
 - 委託先 AGSプロサービス株式会社(令和2年11月1日から令和4年3月31日まで)

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
国民健康保険運営協議会開催回数	2回	3回	4回	2回	3回	3回

事務事業名	2034002	国民健康保険特別会計繰出事務			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
491,946,000	334,874,243	0	157,071,757	68.1%	

- 国民健康保険特別会計繰出金
 - ・ 保険基盤安定繰出金(保険税軽減分) 98,312,500円
 - … 保険税の軽減相当額の繰出し
 - ・ 保険基盤安定繰出金(保険者支援分) 85,586,625円
 - … 保険税軽減の対象となった一般被保険者数に応じて平均保険税の一定割合の繰出し
 - ・ 出産育児一時金繰出金 10,920,000円
 - … 日高市国民健康保険条例第6条の規定に基づき支給される出産育児一時金の2/3に相当する額の繰出し
 - ・ 財政安定化支援事業繰出金 22,663,118円
 - … 年齢構成差による給付費の一定割合の繰出し
 - ・ 事務費繰出金 37,392,000円
 - … 被保険者証の発行、保険税の算定経費等の事務費相当分の繰出し
 - ・ その他繰出金 80,000,000円
 - … 決算補填(赤字補填)及び保健事業費等の繰出し

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
繰出額	585,026,920円	560,337,997円	446,779,220円	386,218,717円	431,076,069円	334,874,243円

健康推進部 保健相談センター

保健相談センター		一般会計						
		款	項	目	決算書頁			
		2	総務費	1	総務管理費	11	諸費	P64
事務事業名	6241046	衛生費国・県支出金等返還事務（保健相談センター）						
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率			
1,328,000	1,327,578	0	422	99.9%				
<p>○ 令和元年度中に交付された国、県支出金を実績に基づき精算し、超過交付分を返還しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母子保健衛生費国庫負担金（養育医療給付事業分）返還金 885,052 円 ・ 母子保健衛生費県負担金（養育医療給付事業分）返還金 442,526 円 <p style="text-align: right;">合計 1,327,578 円</p>								

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	P100
事務事業名	2031001	看護専門学校等支援事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
744,000	743,400	0	600	99.9%

- 飯能地区医師会が経営する飯能看護専門学校へ運営の補助をしました。
 ・ 地域の看護活動を担う保健師、看護師の育成に寄与しました。
- 近隣の大学、専門学校等の学生に実践経験を積んでもらうために、実習生の受入れを行いました。
 ・ 飯能地区看護専門学校高等看護学科 実習中止
 ・ 西武文理大学看護学部看護学科 延べ14日間・5人
 ・ 埼玉医科大学保健医療学部看護学科 延べ8日間・3人
 ※ 飯能地区看護専門学校高等看護学科については、実習生を延べ12日間（14人）受け入れる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、実習が中止されました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
近隣の看護学生受入人数	27人	35人	31人	25人	32人	8人
飯能看護専門学校生徒数	227人	209人	196人	183人	178人	178人

事務事業名	2031002	休祝日地域医療体制整備事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
16,303,000	16,274,681	0	28,319	99.8%

- 休祝日、夜間の診療体制を整え、急病や災害等の緊急時における市民の生命を守りました。
 ・ 休祝日調剤薬局運営費負担金 42,000円×66日×人口割 1,144,836円
 ・ 救急医療施設運営費負担金
 休祝日・夜間診療所運営費 14,025,480円
 休祝日緊急歯科診療所運営費 1,090,320円

<休祝日・夜間診療所>

受付時間 休祝日 午前9時から午前11時30分まで、午後1時30分から午後3時30分まで
 夜間 毎日午後8時から午後9時45分まで
 場 所 飯能市大字小久保291（飯能日高消防署内）

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
休祝日・夜間診療所開所日数	358日	357日	357日	357日	357日	357日
休祝日診療利用者数	578人	563人	565人	599人	525人	273人
夜間診療利用者数	435人	481人	446人	463人	436人	180人
休祝日緊急歯科診療所開所日数	66日	66日	66日	67日	67日	66日
休祝日歯科利用者数	32人	21人	23人	11人	24人	82人

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	P100
事務事業名	2031003	献血等推進事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
192,000	188,798	0	3,202	98.3%

- 安全で質の高い血液を供給するために、献血思想の普及啓発を図りました。
 <主な活動>
 - ・ 献血協力者に記念品を配布しました。
 - ・ 例年、献血のPR活動として、6月に開催している「健康まつり」で献血PRコーナーを設置して啓発を行っていましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「健康まつり」を中止し、PR活動を行うことができませんでした。
- 骨髄及び末梢血幹細胞の移植の推進並びに骨髄等の提供者の登録の推進を図るため、ポスターを掲示し、啓発活動を行いました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
献血実施回数	48回	44回	47回	45回	45回	50回
献血者数	1,662人	1,454人	1,673人	1,561人	1,549人	1,828人

事務事業名	2031004	飯能地区医師会等支援事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
33,072,000	33,070,480	0	1,520	99.9%

- 急病、災害等の緊急時において、市民の生命を守るため、坂戸鶴ヶ島地区医師会及び飯能地区医師会等に負担金及び補助金を交付し、地域医療体制の整備、地域の救急医療の充実を図りました。
- 坂戸・飯能地区病院群輪番制病院運営費補助金（診療日数で算出し、人口割）
 協定市町（毛呂山町、越生町、鳩山町、鶴ヶ島市、坂戸市、日高市、飯能市）
 ※ 令和元・2年度は日高市が幹事市のため、協定市町から負担金を歳入として受け入れ、当市負担分と合算し、補助金として交付しました。
 - ・ 初期救急医療施設
 休祝日診療所、休祝日緊急歯科診療所
 - ・ 救急告示医療機関
 佐瀬病院、飯能中央病院、旭ヶ丘病院、武蔵台病院、埼玉医科大学病院、岡村記念クリニック、関越病院、坂戸中央病院、飯能整形外科病院、埼玉医科大学国際医療センター
 - ・ 第2次救急医療施設（坂戸・飯能地区病院群輪番制病院）
 旭ヶ丘病院、佐瀬病院、武蔵台病院、飯能中央病院、関越病院、埼玉医科大学病院、坂戸中央病院、岡村記念クリニック、飯能整形外科病院
 - ・ 第3次救急救命センター
 埼玉医科大学国際医療センター救命救急センター
- 飯能地区歯科医師会補助金（飯能市との人口割）
- 飯能地区医師会補助金（飯能市との人口割）
- 飯能地区薬剤師会補助金（飯能市との人口割）

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	P100
事務事業名	2031009	社会福祉施設等応援交付金支給事業（保健相談センター）		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
21,508,000	21,507,956	0	44	99.9%

○ 日高市社会福祉等応援交付金支給実施要綱に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大により、感染リスクがある中、地域の福祉、介護又は医療の供給体制を維持し、市民生活に貢献した社会福祉施設等に対し、社会福祉施設等応援交付金を支給しました。

- ・ 交付金支給額 21,500,000円
- ・ 支給医療機関数 39機関
- ＜内訳＞
 - 交付金額200万円 4機関
 - 交付金額100万円 4機関
 - 交付金額 50万円 11機関
 - 交付金額 20万円 20機関

事務事業名	2032001	こころの健康づくり事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
516,000	304,437	0	211,563	59.0%

○ 精神障がい者及びその家族が抱えるこころの問題について、精神保健福祉士又は保健師が随時、電話や面接、訪問の手段を用いて、こころの健康問題の解決を図りました。（下記実績数表示）

○ 精神科医によるこころの健康相談（年6回実施：偶数月の第3水曜日の午後に開催）

対象 市民 実績 相談者数 9人

○ ゲートキーパー養成研修

対象 市職員 実績 参加者数 78人

○ 日高市精神障がい者社会復帰支援事業（ソーシャルクラブ「つぼみの会」）

内容 市内在住の回復途上にある精神障がい者を対象に、話合いや創作活動、スポーツや各種レクリエーションなどのグループ活動を通じて、対人関係能力の向上などの社会復帰に関する能力を高めることを目的としています。なお、今年度の活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から5月まで活動を中止し、6月以降は感染状況に応じて活動を縮小しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
個別相談件数（面接）	297件	253件	231件	180件	124件	86件
個別相談件数（電話）	1,516件	1,742件	1,465件	2,108件	1,272件	1,476件
個別相談件数（訪問）	165件	164件	123件	150件	120件	150件
ソーシャルクラブ実施回数(毎週木曜日実施)	50回	47回	49回	47回	47回	31回
ソーシャルクラブ延べ参加者数(会員数)	377人(15)	348人(16)	282人(12)	246人(13)	219人(12)	87人(10)

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	P100
事務事業名	2041001	安心出産支援事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
33,439,000	29,332,983	0	4,106,017	87.7%

- 妊婦の方が、心身ともに安定した状態で妊娠期を過ごすために、夫婦で参加できるパパ・ママ教室を年6コース（1コース3日間）実施し、妊娠、出産、育児に関する知識の普及や仲間づくりの場を提供することができました。緊急事態宣言中は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期し、他の月への振替を実施しました。
- 母子健康手帳の交付や妊婦健康診査受診費用の助成を行い、安心安全な妊娠、出産を支援しました。
 - ・ 母子健康手帳の交付 交付場所：保健相談センター
 - ・ 妊婦健康診査受診費用の助成
妊婦健康診査 14回分、H I V抗体検査、子宮頸がん検査
ヒト白血病ウイルス1型検査、性器クラミジア検査
- 母子健康手帳の交付時に妊婦歯科健康診査受診票を交付し、受診費用の助成を行いました。
妊婦歯科健康診査 受診者数 61人
- 不妊治療費の助成を実施しました。 助成件数 41件
- 不妊検査費の助成を実施しました。 助成件数 10件
- マタニティタクシー利用料金助成事業を実施しました。
マタニティタクシー利用券交付者数 247人 使用者 75人 利用券使用率 5.2%

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
パパ・ママ教室参加者数（延べ）	114人	140人	83人	68人	110人	68人
母子健康手帳交付冊数	353冊	354冊	286冊	281冊	276冊	280冊
妊婦健康診査14回分受診者数（延べ）	3,842人	3,971人	3,263人	3,189人	3,094人	3,211人

事務事業名	2041002	乳幼児支援事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
9,836,000	8,480,674	0	1,355,326	86.2%

- 例年、4か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査及び10か月児保育相談をそれぞれ月1回実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月の相談については、6月から8月までの間に振替又は追加の日程を設定するなどして対応しました。
- 乳幼児健康診査や10か月児保育相談を行い、疾病等を早期に発見し、適切な治療等に結びつけるとともに、育児不安の軽減により健やかな発育と発達を支援しました。
- 例年、2歳児の歯とおやつの教室を年4回実施し、子どものよい歯を守る健康習慣の確立を支援していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別相談の形式へ変更しました。
- 発育発達相談を年17回実施し、乳幼児健康診査で心身の発育発達に遅れが疑われる乳幼児に対して、小児科医、言語聴覚士、理学療法士による診察や相談、指導を行いました。
- 新生児聴覚検査の費用助成を開始し、新生児の聴覚障がい早期発見及び早期支援に努めました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4か月児健康診査受診者数	345人	321人	305人	258人	256人	270人
4か月児健康診査受診率	96.6%	97.0%	97.1%	97.0%	96.2%	97.8%
1歳6か月児健康診査受診者数	377人	353人	311人	315人	242人	295人
1歳6か月児健康診査受診率	92.2%	90.0%	96.6%	95.2%	94.2%	97.4%
3歳児健康診査受診者数	419人	359人	360人	356人	304人	353人
3歳児健康診査受診率	91.9%	93.0%	95.0%	94.7%	95.0%	94.6%
赤ちゃんサロン参加数	293組	217組	257組	143組	142組	100組
わくわく広場参加数	102組	112組	103組	—	—	—
新生児訪問件数	51件	86件	236件	256件	263件	254件

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	2 予防費	P102
事務事業名	2031006	健康教育事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
252,000	93,092	0	158,908	36.9%

○ 市民の健康増進のため、公民館や保健相談センターで各種健康教室を実施し、受講者が自分や家族の健康についての知識を取得するとともに、自ら健康管理ができるように支援しました。
 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康教室の開催を例年よりも縮小しました。

- ・ 保健相談センター主催
 成人 4回 延べ 357人
- ・ 出前講座
 成人 2回 延べ 41人
- ・ 依頼による健康教室
 成人 1回 延べ 11人 母子 5回 延べ 57人

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康教室開催回数	20回	25回	24回	29回	33回	12回
健康教室参加者数	629人	456人	405人	615人	889人	466人

事務事業名	2031007	健康づくり推進事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
8,759,000	8,192,226	0	566,774	93.5%

- 例年は、「日高市健康まつり」として、健康に関する様々な体験ができるイベントを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
- 埼玉県コバトン健康マイレージ事業により、新たに歩数計利用者が100人追加登録されました。
 ※ 歩数計費用及び事業負担金は、国民健康保険特別会計と按分負担。
- 日高市健康ポイント事業を実施し、18人が達成しました。
 埼玉県コバトン健康マイレージ事業参加者のうち、市で実施される検診や健康に関する教室に参加することにより、付与されるポイントが100ポイントを達成した人に賞品を授与しました。
- 市民の健康づくりのために、食生活改善推進員及び運動普及推進員をはじめとする健康づくりに熱意のある市民との協働により、各種事業を展開しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康まつり来場者数	500人	550人	750人	700人	700人	中止
運動普及推進員数	22人	28人	26人	26人	30人	30人
運動普及推進員関連事業参加者数※	2,395人	3,789人	7,371人	8,451人	3,737人	3人
食生活改善推進員数	58人	60人	58人	53人	53人	56人
食生活改善推進員関連事業参加者数	1,939人	1,714人	1,988人	2,150人	2,243人	1,424人

※日高かわせみの里ツーデーウォーク（平成28年度まではワンデーウォーキング）参加者が含まれています。

保健相談センター	一般会計			
	款	項	目	決算書頁
	4 衛生費	1 保健衛生費	2 予防費	P102
事務事業名	2031008	検診事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
37,933,000	22,326,285	0	15,606,715	58.9%

- 各種検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療に結びつくように努めました。
 - ・ 胃がん検診 年11回
 - ・ 子宮がん検診 年11回
 - ・ 乳がん検診 年11回
 - ・ 前立腺がん検診 年1回
 - ・ 個別検診(子宮、乳、肺、大腸、胃、前立腺がん、健康診査)
 - ・ 大腸がん検診 年27回
 - ・ 肺がん検診 年13回
 - ・ B型・C型肝炎ウイルス検査 年1回
 - ・ 骨粗しょう症検診 年3回
- 胃がん個別検診を開始しました。
- 国の施策に基づき、がん検診推進事業を実施しました。対象年齢の人に無料検診クーポン券と検診手帳を配布し、受診率向上に努めました。(子宮がん検診、乳がん検診)

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
胃がん検診受診者数	630人	650人	706人	703人	785人	611人
子宮がん検診受診者数	1,083人	967人	805人	786人	829人	695人
乳がん検診受診者数	1,136人	1,128人	870人	915人	892人	615人
前立腺がん検診受診者数	154人	222人	248人	256人	288人	135人
大腸がん検診受診者数	1,606人	1,515人	1,510人	1,673人	1,742人	1,568人
肺がん・結核検診受診者数	1,070人	1,130人	1,272人	1,290人	1,359人	1,174人
B型・C型肝炎ウイルス検査受診者数	27人	16人	21人	44人	23人	18人
骨粗しょう症検診受診者数	441人	418人	439人	424人	452人	354人
健康診査受診者数	119人	116人	91人	79人	59人	88人

事務事業名	2032003	健康相談事業		
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率
32,000	22,012	0	9,988	68.8%

- 市民が抱えている健康に関する様々な不安を栄養士、保健師に相談する場を設け、健康の維持増進のために自分に合った健康情報を入手できるよう支援しました。
- 乳幼児を持つ親の相談に応じ、育児不安の解消や適切な情報を提供することなどにより子育てを支援しました。
- 母子保健利用者支援専門員(助産師)への相談ができる場を設けたことにより、乳幼児を持つ親の母乳育児に対する不安の解消や適切な情報を提供することができました。

<相談実績>

- ・ 健康相談 年42回 (対象者:成人、乳幼児、妊産婦)
年48回の実施予定でしたが、緊急事態宣言を受け、4月中旬から5月末までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面相談を中止し、電話等による個別相談に変更しました。
- ・ 生活習慣病予防相談 年19回 (対象者:成人)
年24回の実施予定でしたが、緊急事態宣言を受け、4月中旬から5月末までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面相談を中止し、電話による相談や後日の日程による相談に対応しました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康相談回数	45回	46回	45回	47回	43回	42回
健康相談者数	1,274人	1,177人	1,320人	1,063人	872人	675人
生活習慣病予防相談回数	40回	42回	42回	42回	36回	19回
生活習慣病予防相談者数	144人	79人	139人	141人	122人	74人

保健相談センター	一般会計				
	款	項	目	決算書頁	
	4 衛生費	1 保健衛生費	2 予防費	P102	
事務事業名	2033001	予防接種事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
298,497,000	173,474,251	114,481,000	10,541,749	58.1%	94.3%

- 乳幼児、児童、生徒に対して法律に基づくロタウイルス等の定期予防接種を実施し、病気を予防しました。
- 症状が重症化しやすい高齢者に対して、高齢者予防接種（肺炎球菌、インフルエンザ）を実施し、病気のまん延を予防しました。なお、令和2年度は県補助金を活用し、12月末までは自己負担なくインフルエンザワクチン接種を受けられるよう支援したことにより、接種者数が増加しました。
- インフルエンザ予防接種について、高校受験を控えた中学3年生を無料としたほか、2,000円を上限に「生後6か月から中学2年生までの子ども」及び「妊婦」の接種費用を助成し、重症化の予防、周囲へのまん延を予防しました。
- 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性の風しん抗体検査及び風しんの定期予防接種を実施し、病気を予防しました。抗体検査数 561人 予防接種者数 77人
- 令和3年度に市民への新型コロナウイルスワクチン接種を実施するため、接種情報を管理するための既存システム（健康かるて）の改修、ワクチン接種券の発行及びパソコンの購入等を行い、ワクチン接種に向けた準備を行いました。
- 新たに、里帰り出産等で指定医療機関等で予防接種が受けられない乳幼児を対象として、予防接種の費用を助成し、病気を予防しました。

【令和3年度への繰越明許費】

・ 需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金、補助及び交付金（繰越額 114,481,000円）

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
三種混合及び四種混合接種率	93.5%	90.2%	90.9%	86.8%	82.7%	87.8%
予防接種者人数（延べ）	15,910人	16,660人	16,881人	17,015人	16,715人	22,388人

※ 平成30年度以降の接種率は、四種混合接種者のみで算出しています。

事務事業名	2041021	未熟児養育医療費支給事業			
予算現額(円)	支出済額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率	繰越除く執行率
4,122,000	4,120,510	0	1,490	99.9%	

- 入院加療を受ける必要のある未熟児に対して医療費の給付を行い、保護者の負担を軽減しました。
- 申請手続の際に地区担当の保健師が対応することにより、支援が必要な未熟児の情報把握及び保護者との早期接触を図りました。

【成果数値】

成果数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
養育医療費給付人数	18人	13人	15人	9人	8人	14人

